事例7：両上下肢機能障害（骨形成不全）による肢体不自由．座位の安定や筆記が困難．電動車椅子を使用．

時期	情報源・協力者	対象者の行動	申請先	申請内容と結果
2007 (高2) 夏休み	進路担当教諭	•センター別冊について情報を得る		
2008 高3	担任 •A社にお願いし，大学一覧をもらう •私大へ電話で問い合わせ	私大の情報を得る		
2008 8月		私立A大キャンパス公開		バリアフリーと言われ，受験を決める
		私立B大キャンパス公開	私立B大入試担当 電話連絡	入学後に必要なことを書くよう求められる •トイレ・実験介助→トイレ× •体育の免除→○ •机持参→○
9月		私立A大：入試科にて特別措置申請書をもらってくる 特別措置申請	私立A大入試科	
10月	担任 手直しを依頼	センター措置申請書を自分で作成 措置申請	センター	•試験室入口までの付添者の同伴→○ •トイレに近い試験室→○ •1階又はエレベーターが利用可能な試験室→○ •特製机の準備→○ •車いすの持参使用→○ •座席を出入口近く→○ •休み時間の休憩場所準備→○ •付添者の待機室の準備 ※時間延長申請せず
11月		私立A大入試科から電話があり，面談に行く．		•広報の入試担当（3人）と校舎内を回り，EVなし等知らされる． •教授と面談
		一般受験を断念		
12月		私立A大入試科から再度電話．高校へも学校生活について問合がある．		24日に大学訪問．部局の人（6人）から以下のことを知らされる •カリキュラム説明 •車いす（手動）だけは置いてよい •EVは予算の関係上つけられない •学校でボランティア募集など，良心的対応